

# V B経営 虎の巻

社長の口ごころの言動が組織の動きを決める。組織の動きに問題があると感じたら、社長はまず自らの言動を振り返ったほうがよい。戦略などを詳しく検証するのは後回しだ。

社員はいつも、社長の一挙手一投足に注意を払っている。ベンチャー企業の場合、社長は創業者であり、会社を引っ張るけん引者である。「社長が何を考えているか」を、社員が必死に考えるのは自然なことだ。もちろん、社長の顔色ばかりをうかがってビクビク

## 組織動かす社長の言動



インディゴブルー社長 柴田 励司氏

1985年上野大文学卒。マザー・ヒューマンリソース・コンサルティング(現マザーシャパン)社長などを経て、2008年カルチュア・コミュニケーション・エンタテインメントの最高執行責任者(COO)に就任。10年6月から現職。

しているのではない。「社長の夢を手助けしたい」という純粋な気持ちが少ない。家電量販チェーンのA社に他ならない。もちろん頭

## 社員の時間と尊厳考えて

らず存在する。そういう感情があることを社長は肝に銘じておく必要があると思

う。その上で、社長が配慮しなければならぬのは、社員の時間であり尊厳だろう。あまりにも配慮を欠く組織はおかしくなる。ひいては社員が社長に対して

この行動はスピード重視の経営を実践していること

がコントロールできなくなった。こうした対応が日常的になると、どついても受け身になる。売り場ではなく社長の動きばかり気になるの

で当然、稼働力は弱くなってしまう。実際、この家電量販店は売れ筋の品ぞろえが後手になり、業績にも悪い影響が出た。

マーケティングサービスのS社長は必要以上に社員の声を軽んじる傾向が強い。社外の人なら素直に耳を傾けるものの、社員からだと全否定も珍しくない。

さすがにこれが続くとならば、組織はヒトであり、そこには必ず感情が存在する。も意見しなくなる。想像し進言しても、社外の人なら褒められ、社員である自分